

活動名	SDGs オリエンテーリング			
活動概要	問題の解答を得るため、写真とヒントを手掛かりに、グループで協力して交流の家所内にあるチェックポイントを探します。チェックポイントはSDGsの達成目標に関連する施設に掲示してあります。			
育つ力	自己肯定感	コミュニケーション能力	協働性	やり抜く力
諸条件	場 所	交流の家 所内	対 象	小学校高学年以上
	所要時間	1.5 時間	人 数	1グループ6人程度
	時 期	全シーズン	天 候	少雨可 (荒天時は要相談)
活動の教育的効果	(1) グループで問題を解きながら活動することで、達成感を感じたり仲間と協力することの大切さを知ったりすることができます。 (2) SDGs という社会的かつ教育的テーマについて、体験的要素を通じて楽しみながら学習することができます。			
準備するもの	団体が準備するもの		交流の家が貸し出すもの	
	<input type="checkbox"/> 個人：筆記用具、時計、雨具（雨天時）、帽子、水筒、タオル <input type="checkbox"/> 団体：救急バッグ		<input type="checkbox"/> 問題用紙（各班1部） <input type="checkbox"/> 解答用紙（各班1部） <input type="checkbox"/> バインダー	
活動内容 (手順)	時 間	項 目	内 容	備 考
	事前	グループ編成とミーティング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例・時間内に何点とるか話し合う ・約束や目標を決める	・問題用紙等の準備のため、事前に班数の報告をお願いします。
	15分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップをする。 <input type="checkbox"/> 問題・解答用紙を各班に配布する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	※指導は団体責任者（引率者）となります。
	90分	活動	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差で出発する。	
	15分	集合、片付け	<input type="checkbox"/> メンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝え、得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：約束は守れたか、目標が達成できたか、できなかった理由は何か 等 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝によるする傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定します。 例 他者理解 <input type="checkbox"/> 対象者の発達段階や時間に応じて、探検ラリーやネイチャービジュアル等、他のプログラムと併用して実施することも可能です。			
備考				

チェックポイントとワークシート



富士のさと SDGsオリエンテーリング (チェックポイント)

※チェックポイントは、それぞれの目標と関連のある場所にあります。ヒントと施設配置図を参考にして、予想しながら探してみましょう。

栄養満点の食事を提供	バレー、バスケットなど室内スポーツを行うことができる	500 席以上あり、多くの人が一緒に研修を受けられる	バレーボールを表現した女性の銅像	
野外炊事やキャンプの時に利用しやすい	宿泊棟へ電気を供給する役割を果たしている (リネン室の周辺にあるよ)	休憩や交流を目的に誰もが自由に使用できる部屋	合信スタイルのボランティア研修が行える施設	
国立中央青少年交流の家へようこそ！	レクリエーションをしたり、お弁当を食べたりすることができる緑地広場	ゴミを分別したら、この倉庫の中へ	夜間に宿泊棟や、その前の道を照らす照明	
食材や食器を洗うなど、野外炊事の時に使用	希少種の山野草など、多くの生きものが観察できるピオトープ	交流の家の生みの親といえる女性の銅像 (眺望がよい研修棟の中にあるよ)	SDGs に取り組んでいる団体を紹介するコーナー	



富士のさと SDGsオリエンテーリング

— 世界や日本の現状は？ —

日本の人口は1億2500万人 静岡県の人口は364万人 (2020年1月)

- 世界で約8億3600万人、途上国の約1人が極度の貧困状況(1日1.25ドル[135円]未満)で生活していて、2030年までに貧困に終止符を打つメドは立っていない。
- 世界では8億2100万人が栄養不良の状況になっていて、飢餓の中で暮らす人々は1日に約2人ずつ増加している。その一方で、日本では毎日1人当たりお茶碗1杯分の食品が捨てられている。
- 2017年には、推定3億1900万人がマラリアにかかり、43万人以上がそれを原因に死亡している。
- 2017年には2億6200万人の子ども(6~17歳)は学校に通えていない。これは、その年齢層の世界人口のほぼ4人に相当する。
- 読み書きのできない成人が世界で7億5000万人いて、そのうち2/3が女性。また、日本の女性は、給料が支払われない高齢者の介護や子どもの世話、[5]などに男性の約3倍の時間を費やしている。
- 2017年時点で、世界中で約30億人が自宅で適切に手を洗うことができていない。また、世界人口の約9%にあたる6億7300万人が、いまだに[6]排泄を行っている。
- 世界で30億人が薪ストーブ、[7]、または動物の排泄物を調理や暖房に用いている。
- 世界で1億5000万人以上の子どもが、十分な教育を受ける機会を得ることなく働かされている。その半数以上の8500万人が、[8]で有害な最悪の形態での労働を強いられている。
- 2018年の1人あたりの製造業付加価値が先進国は約5000ドルだったのに対して、後発開発途上国はそのわずか[9]程度で、後発開発途上国の産業化は、2030年に目標を達成できるペースで進んでいない。
- 世界で最も裕福な[10]人が保有する資産は、世界の貧しい半分(36億人)が所有する総資産に匹敵する。
- 世界の都市住民の9/10人は汚染された空気の中で生活している。また、1/4人は[11]に類似した環境で生活している。
- 2050年まで現在の生活様式を続けるには、地球[12]つ分の資源や循環機能が必要になる。
- 1998~2017年にかけて、世界中の気候などが関連した災害による死者数は[13]人上ったと推計される。
- 海に流入されているプラスチックゴミは、1億5000トンと言われており、ジャンボジェット機に例えると[14]機分に相当する。
- 全世界では年間日本国土面積の約[15]にあたる1200万ヘクタールの農地が消失している。
- 世界中で把握された人身売買の被害者のうち、女性と女児が占める割合は70%で、その大半の目的は性的搾取が目的のものだった。また、紛争国では小学校の進学率が[16]%に達し、2850万人の子どもが学校に通えなくなった。
- SDGsコーナーの各団体の取組を見て、気づいたことや考えたことを書きましよう。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16		
17					